

REPORT 2018

2018年9月末の状況



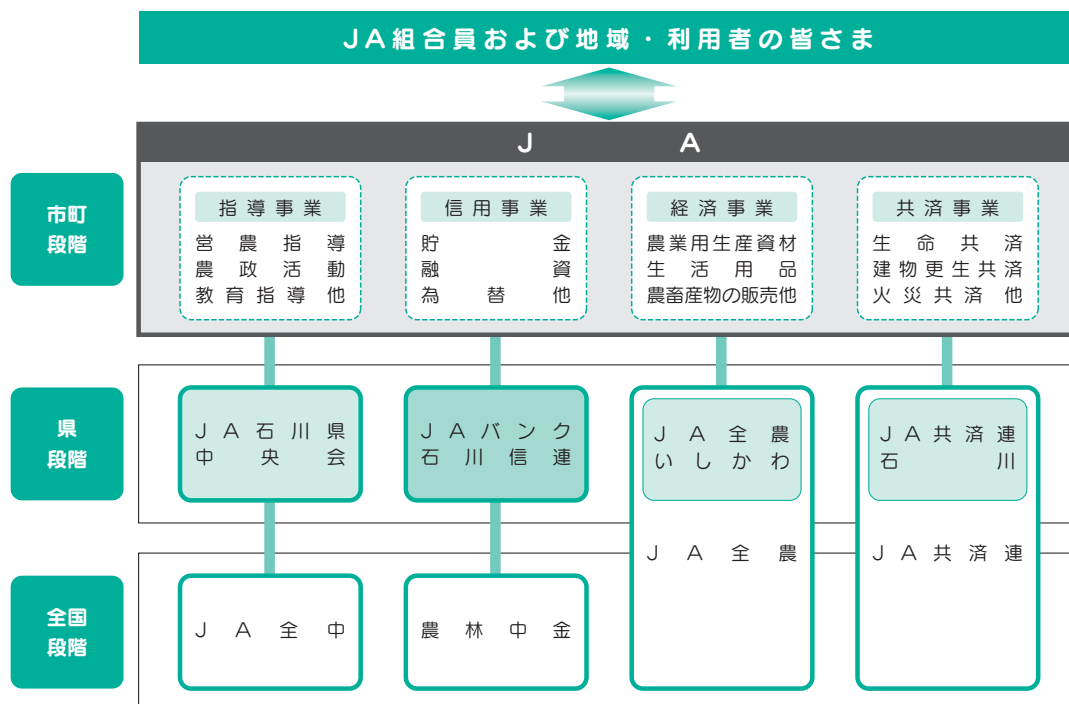
JAバンク石川信連

JAバンク石川の概要について

JAグループ石川の仕組み

JAグループは、農家組合員をはじめとする組合員組織を基盤に、市町段階のJA、県段階・全国段階の連合会組織で構成し、それぞれが機能を分担のもと、信用事業、指導事業、経済事業、共済事業等を展開しております。

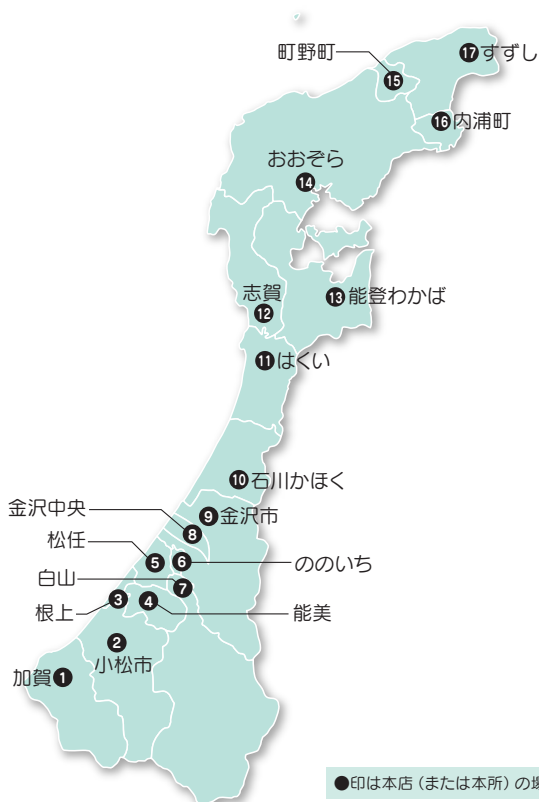
このうち、信用事業においては、JA・信連・農林中金で構成するグループを総称して「JAバンク」とし、グループ全体のネットワークと総合力で、地域の皆さまに、より身近で便利、そして安心なメインバンクとなることを目指しております。



JAバンク石川のネットワーク

石川県下17JAの信用事業部門と当会を総称して「JAバンク石川」とし、JAと一体となって信用事業を展開しております。

当会は、信用事業を行う県段階の連合会組織として、県下JAの事業運営をサポートするとともに、県域を営業エリアとする地域金融機関として地域の皆さまから信頼される事業運営を行い、地域農業および経済の発展に貢献できるよう努めております。



JAバンク石川		
県下17JA		
①JA加賀	⑦JA白山	⑬JA能登わかば
②JA小松市	⑧JA金沢中央	⑭JAおおそら
③JA根上	⑨JA金沢市	⑮JA町野町
④JA能美	⑩JA石川かほく	⑯JA内浦町
⑤JA松任	⑪JAはくい	⑰JAすずし
⑥JAののいち	⑫JA志賀	
県連合会		
JAバンク石川信連		

●印は本店（または本所）の場所

JAバンク自己改革の取組みについて

JAバンク石川では、農業所得増大・地域活性化応援プログラムの実践をはじめとした3本の柱から成るJAバンク自己改革の完遂に向けた取組みを実践しております。

当会では、農業金融センターを中心に農業所得増大と地域活性化等の実現に向け、担い手支援策である「いしかわ農業応援プログラム」の活用推進に取組むとともに、農業近代化資金、農業バックアップ資金について利子補給や保証料助成により、農業者の負担軽減を図り、農業経営に対する支援を行っております。

また、信用事業運営の合理化等への取組みとして、JAへのオンラインキャッシュの導入や渉外支援端末等を活用した事務支援を行うほか、農畜産物等のプレゼントを付した金融商品の取扱いを企画するなど農業支援や地域貢献に取り組んでおります。

JAバンク自己改革 「3本の柱」

1. 農業所得増大・地域活性化応援プログラムの実践
2. 信用事業運営の合理化等の実践
3. 農業と地域・利用者をつなぐ金融サービスの提供と地域貢献

1. 農業所得増大・地域活性化応援プログラムの実践

～「いしかわ農業応援プログラム」の活用～

JAグループ自己改革に掲げる3つの基本目標「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現に向けて、平成28年度から平成30年度の3年間の事業を対象に、担い手への支援策である「いしかわ農業応援プログラム」を策定し、事業費用の一部助成を行っております。また、平成30年度には「スマート農業、ICT農業導入支援事業」を拡充するとともに「鳥獣被害防止対策助成事業」を追加し、担い手の農業所得増大、地域活性化に向けた取組みに対し、積極的な支援に取り組んでおります。

- ・農畜産物の生産・流通・販路基盤拡大事業
- ・スマート農業、ICT農業導入支援事業
- ・販路拡大・6次産業化支援事業
- ・鳥獣被害防止対策助成事業 等
- ・新規就農者育成応援事業

～農業メインバンク機能の強化等にかかる取組み～

当会では、農業者の所得増大と地域活性化等の実現に向け、「いしかわ農業応援プログラム」の活用を推進するとともに、以下の施策に取り組むことで、JAバンク石川が一体となって農業メインバンク機能の発揮に努めております。

- ・JAバンクアグリサポート利子助成・利子補給事業
- ・農村地域振興等の基金（ファンド）への出資
- ・農業近代化資金・農業バックアップ資金の保証料助成
- ・自然災害等被災農業者への支援 等

2. 信用事業運営の合理化等の実践

JAへのオンラインキャッシュ導入による現金取扱事務の効率化・堅確化に取り組んでおります。また、渉外支援端末やイメージ処理、印鑑照合機能を活用した事務支援に取り組んでおります。

3. 農業と地域・利用者をつなぐ金融サービスの提供と地域貢献

JAバンク石川では、農業振興に結び付く商品・企画を積極的に展開することとしており、JA利用者の満足度向上や農畜産物の消費拡大等に向けた農業応援金融商品の提供、JA直売所の利活用を通じ、地域貢献に取り組んでおります。

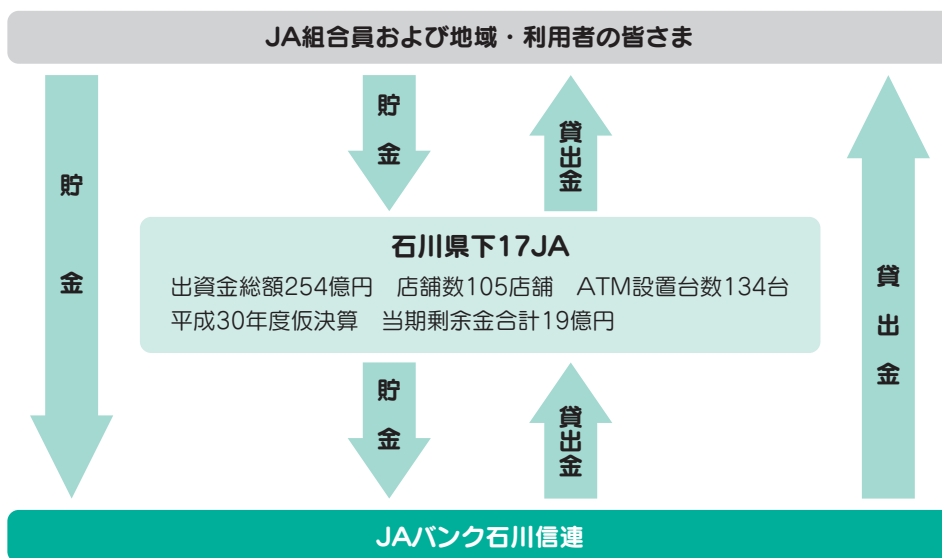
- ・県内農畜産物等プレゼント企画付住宅ローンの取扱い
- ・JAカードによる直売所利用時の5%割引特典の取扱い

JAバンク石川の地域密着型金融への取組状況等について

当会は、石川県を事業区域として、県内JA等が会員となって、相互に助け合い、発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の農業専門金融機関であるとともに、地域社会の一員として、金融を通じて県内経済の継続的発展に努めている地域金融機関であります。また、金融サービスの提供はもとより、環境・文化・教育・スポーツといった面からも広く地域社会の活性化に取り組んでおります。

なお、当会では、平成29年3月に金融庁が公表した「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択し、利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するため「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を制定しております。

また、金融円滑化にかかる基本方針を定め、中小企業等への経営支援に取り組むとともに、経営者保証に関するガイドライン研究会公表の「経営者保証に関するガイドライン」を踏まえ、誠実に対応するよう努めております。

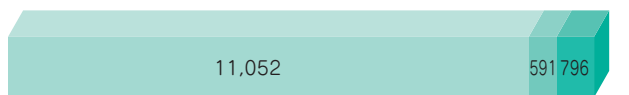


JA組合員および地域・利用者の皆さまからの資金お預かり状況

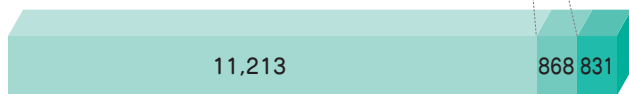
【県下JA貯金】

(単位：億円)

平成30年3月末：12,440



平成30年9月末：12,913

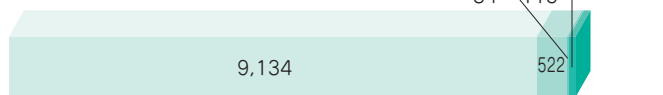


個人 地方公共団体等 その他

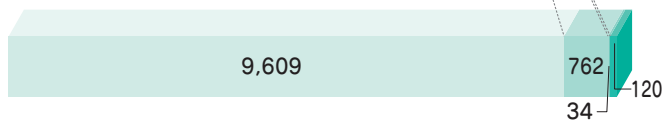
【JAバンク石川信連貯金】

(単位：億円)

平成30年3月末：9,808



平成30年9月末：10,526



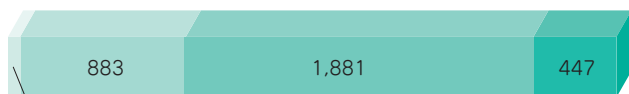
県下JA 地方公共団体 個人 その他

JA組合員および地域・利用者の皆さまの資金ご利用状況

【県下JA貸出金】

(単位：億円)

平成30年3月末：3,279



平成30年9月末：3,285



農業制度資金等 地方公共団体等 住宅ローン等 その他

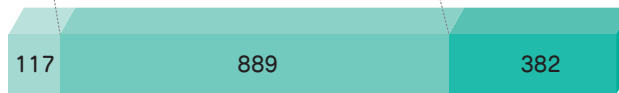
【JAバンク石川信連貸出金】

(単位：億円)

平成30年3月末：1,382



平成30年9月末：1,389



JA等会員 地方公共団体 地元中小企業等

食農教育サポート

未来を担う子どもたちに対して、食農を中心とする教育活動を通して、食、環境等と農業のつながりを知ってもらい、農業に対する理解を深めていただく取組みを進めております。

JAバンク教材本贈呈事業

子どもたちの食や農業への関心・理解を深めるため、「いしかわの農業」と併せてJAバンク教材本「農業とわたしたちの暮らし」を県内全小学校5年生及び特別支援学校へ贈呈しております。

JAバンク教育活動助成事業

県内JA及びJAの組合員で組織する団体による、子どもたちへの食農・環境保全・金融経済をテーマとする教育活動に対して、費用の助成を行っております。

情報発信

子どもたちへの食農教育活動等を定期的に新聞等に広告掲載し、広く地域にPRしております。

地域社会への貢献

当会では、県内JAとともに、地域社会の一員として農業と自然を大切にされた地域貢献活動の実践を掲げ、環境・文化・教育・スポーツ面にわたり幅広く活動を実施しており、これらの活動を通じて地域社会の振興・活性化に取り組んでおります。

「JAバンク石川 石川県トレセンジュニアサッカー大会」の開催

少年サッカーの普及と少年の健全な育成を目的として、平成30年5月、小松市こまつドームドリームピッチにおいて、「第30回JAバンク石川 石川県トレセンジュニアサッカー大会」を開催しました。

「～いしかわ・金沢～ 風と緑の楽都音楽祭」への協賛

音楽の力で地域に活力とにぎわいを創出し、未来の文化芸術の担い手である子供たちの豊かな情操を養うことを目指して開催された「～いしかわ・金沢～ 風と緑の楽都音楽祭2018」に協賛しました。

「第41回JAバンク石川「暮らしの絵」コンクール」の開催

「暮らしと農業」をテーマに、子どもたちが暮らしを見つめることで正しい生活感の醸成を図るとともに、美術教育の振興を目的として、第41回JAバンク石川暮らしの絵コンクールを開催し、平成30年10月の「石川の農林漁業まつり」において優秀作品を展示するとともに、入賞者への表彰式を執り行いました。

「第14回JAバンク石川年金友の会グラウンド・ゴルフ県大会」の開催

高齢者の親睦融和と健康増進を図るため、平成30年10月、かほく市高松グラウンド・ゴルフ場において、県内17JAから463名が参加し、「第14回JAバンク石川年金友の会グラウンド・ゴルフ県大会」を開催しました。

「八神純子withオーケストラ・アンサンブル金沢コンサート」の開催

JAで年金を受給される方への感謝イベントとして、平成30年11月、県立音楽堂において、「八神純子withオーケストラ・アンサンブル金沢コンサート」を開催し、1,300名の年金受給者を招待しました。

「年金相談会」の開催

各種年金手続きや、老後の暮らしの相談等に応えるため、県内JAとともに社会保険労務士による年金相談会を上半期に59回開催しました。

「秩父宮賜杯第50回全日本大学駅伝対校選手権大会」のサポート

平成30年11月開催のJAバンク特別協賛の「秩父宮賜杯第50回全日本大学駅伝対校選手権大会」に先立ち、7月に開催された同大会北信越予選会において、当会役員がJAバンクサポートスタッフとして、給水、応援等の大会運営サポートを行いました。

「クリーンビーチいしかわ」への協賛・参加

環境保全に取り組む「クリーンビーチいしかわ」に協賛し、毎年金沢市内で実施される海岸一斉清掃にボランティア参加しております。

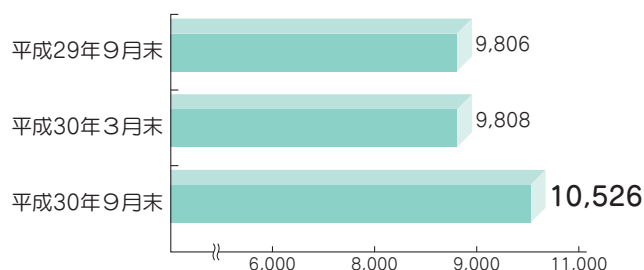
JAバンク石川信連の財務状況等について

本資料に掲載されている計数は、平成30年9月末仮決算に基づいております。

主要勘定の状況

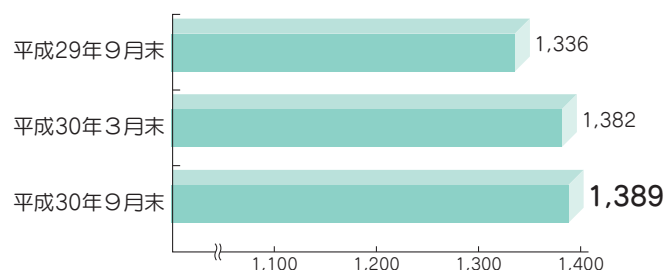
【貯金】

(単位：億円)



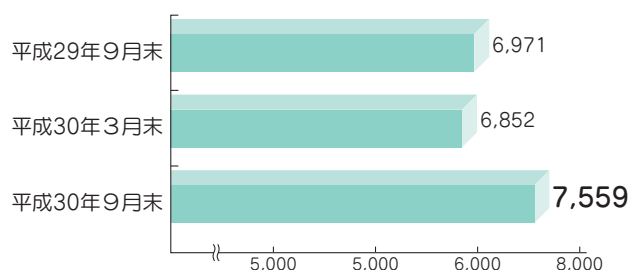
【貸出金】

(単位：億円)



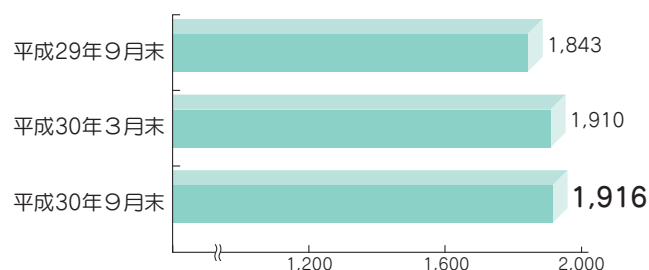
【預け金】

(単位：億円)



【有価証券】

(単位：億円)



損益の状況

(単位：百万円)

	平成29年9月末	平成30年3月末	平成30年9月末
経常収益	4,725	8,739	4,710
経常費用	3,052	6,550	3,171
経常利益	1,673	2,188	1,539
当期剰余金	1,358	1,964	1,269

単体自己資本比率（国内基準適用）

(単位：百万円)

項目	平成29年9月末	平成30年3月末	平成30年9月末
自己資本	59,488	56,526	57,800
リスク・アセット等	310,753	310,134	322,818
自己資本比率	19.14%	18.22%	17.90%

注. 金融庁・農林水産省告示第2号農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準に基づき算出しております。
国内基準行においては4%以上、国際統一基準行においては8%以上の自己資本比率が求められております。

有価証券等時価情報

【有価証券】

(単位：百万円)

区 分	平成29年9月末			平成30年3月末			平成30年9月末		
	取得価額	時 価	差 額	取得価額	時 価	差 額	取得価額	時 価	差 額
満期保有目的	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	174,702	184,336	9,633	181,601	191,044	9,443	183,890	191,696	7,805
合 計	174,702	184,336	9,633	181,601	191,044	9,443	183,890	191,696	7,805

注：有価証券の時価は、各基準日における市場価格等に基づいて算出しております。
取得価額は、償却原価適用後、減損適用後の帳簿価額を記載しております。

【金銭の信託】

(単位：百万円)

区 分	平成29年9月末			平成30年3月末			平成30年9月末		
	取得価額	時 価	差 額	取得価額	時 価	差 額	取得価額	時 価	差 額
運用目的	800	885	85	800	800	—	800	821	21
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	800	885	85	800	800	—	800	821	21

注：金銭の信託の時価は、各基準日における市場価格等に基づいて算出しております。

リスク管理債権

(単位：百万円)

区 分	平成29年9月末	平成30年3月末	平成30年9月末
破綻先債権額	—	—	—
延滞債権額	765	725	679
3カ月以上延滞債権額	—	—	—
貸出条件緩和債権額	1	1	1
合 計	766	726	680

注1. 破綻先債権

未収利息を計上しなかった貸出金（貸倒償却を行った部分を除く。以下「未収利息不計上貸出金」という。）のうち、法人税法施行令第96条第1項第3号イからホまでに掲げる事由又は同項第4号に規定する事由が生じている貸出金です。

2. 延滞債権

未収利息不計上貸出金であって、破綻先債権及び債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として利息の支払を猶予したものの以外の貸出金です。

3. 3カ月以上延滞債権

上記注1～2以外で債務者が元本又は利息の支払を3カ月以上延滞している貸出金です。

4. 貸出条件緩和債権

上記注1～3以外で債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金です。

金融再生法開示債権

(単位：百万円、%)

	平成29年9月末	平成30年3月末	平成30年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	741	703	658
危険債権	23	22	20
要管理債権	1	1	1
小 計 (A)	766	726	680
正常債権	133,649	138,202	138,890
合 計 (B)	134,416	138,929	139,570
不良債権比率 (A/B)	0.57	0.52	0.49
保 全 額	766	726	680
担保・保証	63	60	55
引 当	702	666	625

注1. 破産更生債権及びこれらに準ずる債権

法的破綻等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

2. 危険債権

経営破綻の状況にはないが、財務状況の悪化等により元本利息の回収ができない可能性の高い債権です。

3. 要管理債権

上記注1～2以外の3カ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権です。

4. 正常債権

上記注1～3に掲げる債権以外の債権です。

お客さま本位の業務運営に関する取組み

JAグループは、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げております。

当会では、この理念のもと、平成29年3月に金融庁より公表された「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献してまいります。

《お客さま本位の業務運営に関する取組方針》

<http://www.is-ja.jp/jabank/shinren/honi.html>

中小企業等への経営支援

平成21年12月の金融円滑化法施行以来、合計38件、3,227百万円（平成30年9月30日まで）の貸付条件変更申込みがあり、当該取引先のキャッシュフロー検証や業況・特性を踏まえた審査により実行等の対応を行いました。

なお、貸付条件変更先については、定期的な訪問等により債務者の経営状況の把握に努め、適切な経営指導・経営改善支援等に努めております。

「経営者保証に関するガイドライン」への対応

経営者保証に関するガイドライン研究会（全国銀行協会及び日本商工会議所が事務局）が公表した「経営者保証に関するガイドライン」を踏まえ、当会は、本ガイドラインを尊重し、遵守するための態勢を整備し、お客さまと保証契約を締結する場合、また、保証人のお客さまが本ガイドラインに則した保証債務の整理を申し立てられた場合は、本ガイドラインに基づき、誠実に対応するよう努めております。

お取引先とのネットワークづくり

アグリファンド石川

昭和52年に、農業生産の中核的担い手となる自立経営農家の育成と、農業経営の安定向上を目的に、旧農林漁業金融公庫資金の利用者を対象に設立。

現在、会員数は86名で、持続可能な農業経営を目指し、会員が抱える経営課題の解決をテーマとした勉強会等、農業経営の安定・向上に向けた活動を行っております。

翼信会

昭和62年に、当会取引先中小企業等を会員とし、会員相互の情報交換と研鑽を目的に設立。

現在、会員数は42社で、年2回の経営者交流会のほか、講演会、視察研修や従業員交流会等を行っています。

また、アグリファンド石川と合同研修会を行うなど、相互交流を図っております。



石川県信用農業協同組合連合会

〒920-0383 金沢市古府1丁目220番地 TEL:076-240-5111
お客様ダイヤル ☎0120-30-7766
ホームページ <http://www.is-ja.jp/jabank/>
E-mail jabank@sin.is-ja.jp

プロフィール

(平成30年9月30日現在)

設立年月	昭和23年8月
総資産	1兆1,301億円
出資金	174億円
会員数	79会員
役員数	19名（経営管理委員12名、理事3名、監事4名）
職員数	83名（男子52名、女子31名）
店舗	本所